**平成２７年度の主な活動計画について**

1. **「大縮尺空間データの整備と活用についての調査」への協力依頼**

　　　　自治体ＧＩＳの基盤となる空間基盤データの整備と活用の現況調査を行い、今後の活用推進の課題検討を行うものです。後日、依頼しますのでご協力をお願い致します。

1. **「埋設物調査システム」の運用試験について**

　　　　道路法３４条に基づく協議の電子化に向け、阪南市と企業実務担当者等で埋設物調査システムの運用試験を行い、本格運用に向けた課題整理を行っていく。

1. **「職員参集システム」について**

　　　　地震等災害時における職員の安否確認及び参集状況を確認するためのシステムを構築し、

既存「災害情報共有システム」や「道路規制情報登録システム」と併せ、地震訓練等で活用していけるよう提案する。

1. **Geoアクティビティフェスタへの応募について**

　　　　11/26～28に開催される「Ｇ空間ＥＸＰＯ２０１５（日本科学未来館）」で展示や発表を行う「Geoアクティビティフェスタ」に応募しました（選考結果は８月）。ＧＩＳ官民協議会で構築したプラットフォームを紹介予定。

1. **「地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官地域連携協議会（仮称）」への参加について**

　　　　地理空間情報活用推進基本法が目指す地理空間情報の活用推進のためには、産学官の関係機関が連携して取り組む必要があることから、国土地理院近畿地方測量部が１０月末を目標に「地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官地域連携協議会（仮称）」の設立を進めています。

ＧＩＳ官民協議会へも参加要請があったため、本協議会へ参加予定です。

協議会では、基盤地図情報の効率的な整備・更新並びに活用推進、各分野における地理空間情報活用推進に関する具体的な方策、技術的な課題等について意見交換や検討を行うことを予定されています。